

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	男女共同参画推進啓発誌発行事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんなが元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	総務課	担当者名 岡本貴子
	基本事業	74	男女共同参画社会に対する理解の促進	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1218
				法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり 条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	③
	1	2	1	15	10908			コスト削減優先度評価結果	⑪
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
懇話会の啓発資料部会の中で、内容を検討し、事務局で作成する。

【業務の流れ】
①事務局で内容検討、②印刷会社選定、⑦入札、⑧印刷会社決定、⑨原稿渡し、⑩校正、⑪印刷、⑫発行、⑬配布

【主な予算費目】
印刷整備費

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度同様	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)		
○「合志市男女共同参画推進行動計画概要版」啓発情報誌「いっぽ」		
①事務局で内容検討、②印刷会社選定、⑦入札、⑧印刷会社決定、⑨原稿渡し、		
⑩校正、⑪印刷、⑫発行、⑬配布		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	発行部数 部
	⇒	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	人口 人
・市民	⇒	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	質問・問い合わせがあった件数 件
・啓発資料を読むことで、男女共同参画の重要性を認識できる。	⇒	イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	男女共同参画について正しく理解している市民の割合 %
・市民、事業所、市外からの通勤、通学者が男女共同参画について正しく理解するようになる。	⇒	イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	148	439	181	181	181	181	181	
	(A) 事業費計	千円	148	439	181	181	181	181	181	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	248	400	248	162	248	248	248	
	(B)人件費計	千円	985	1,592	987	645	987	987	987	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,133	2,031	1,168	826	1,168	1,168	1,168	
	活動指標	部	18000	37000	18500	18500	19000	19000	19200	目 標 合 計 値 画 22 年 度
	対象指標	人	53303	53909	54518	54518	55124	55124	55732	
	成果指標	件	0	0	0	0	0	0	0	
	上位成果指標	%	41.9	36.5	58	51	62	65	68	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・旧西合志町時代に、男女共同参画啓発情報誌「じりつ」を発行していた。その啓発手法を取り入れ、合志市として合併した後も予算に計上し、「いっぽ」として全世帯に配布し啓発の一環としている。
- 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・変化は見られない。
- この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・自治体独自の啓発資料配布は、啓発手法として重要である。
・イベントは参加者が限られているが、全世帯配布の資料は、男女共同参画推進に大きく寄与する。

事務事業名	男女共同参画推進啓発誌発行事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 意図の啓発資料を読むことで男女共同参画の重要性を認識し、男女共同参画について正しく理解するようになる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 独自の啓発資料により、合志市の男女共同参画の取り組みを知ってもらい、その中で男女共同参画の重要性を理解すれば、性別に関係なくその個性や能力が十分に発揮できる社会になるので、税金を投入する事は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 内容をより充実させることを目的に議論を深め、向上させる余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画推進条例や男女共同参画推進行動計画を市民に知ってもらうことは、啓発推進上、特に重要であるため、廃止・休止は影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 啓発情報誌発行という手法には、他に手段がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> ページ数、紙質、色の限定(フルカラー、2色刷り)等で削減余地はある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 正職員以外では出来ない業務なので、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 全世帯配布なので、公平・公正になっている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、妥当である。 ②有効性については、有効である。 ③効率性については、効率的である。 ④公平性については、公平である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
紙質を低下させれば金額を落とすことができる。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	2	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)